



ききみみずきん

2020年冬号 Vol.34

<発行・編集>喜多方市立図書館
 指定管理者 株式会社 図書館流通センター
 〒966-0822 喜多方市字柳原7503-1
 TEL:0241-22-1855



●<https://kitakata-lib.sakura.ne.jp>

1月～3月の図書館スケジュール

開館時間 平日 午前9:30～午後7:00 土日祝日 午前9:30～午後5:30

■ 休館日

1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
12/28(月)～年末年始休館						
3	4	5 福	6	7	8	9
10 ト	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 ト	25	26	27	28	29	30 □
31						

2月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14 ト	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27 □
28 ト						

3月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14 ト	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27 □
28 ト	29	30	31			

※予定が変更になることもございます。ご了承ください。

ト おはなしドライブ ミニ(午前11:00～11:15)

福 本の福袋(午前9:30～なくなり次第終了)

□ ユニットおりがみ教室(午前10:00～11:00)

年末年始休館のお知らせ

図書館は令和2年12月28日(月)～令和3年1月4日(月)までお休みです。

予約制

ユニットおりがみ教室

毎月、最終土曜日に「ユニットおりがみ教室」を開催しています。複数の折り紙を組み合わせて作るユニット折り紙に挑戦してみませんか？

～今年度の開催予定日～

1月30日(土)

2月27日(土)

3月27日(土)



講師：五十嵐 智洋 先生

時間：午前10時～11時

場所：喜多方市立図書館2階 第二閲覧室

定員：10名(事前の予約が必要です。)

参加費：100円

持ち物：のり

今年度の作品
「伝承くす玉+α」



本の福袋

日にち：令和3年1月5日(火)

時間：午前9時30分～終日

※福袋が無くなり次第終了

場所：喜多方市立図書館1階 カウンター前

その他：貸出期間は2週間です。

1つの福袋で2冊分の貸出となります。

福袋の中には、さまざまなテーマに合わせて選んだ本2冊とオマケが入っています。

大人用は限定15個、子供用は限定10個です。無くなり次第終了となります。

おまけつきだよー！



おすすめ図書 ラインナップ！



毎週木曜日に新しい本が入ります。
どうぞお楽しみに！

『戦国の図書館』

新藤 透／著 東京堂出版
(010/シ)



学生時代などに、友達と本の貸し借りをしたことがある人は多いと思います。戦国時代においても、天皇、貴族、武士などの間で本の貸し借りや、写本の依頼などが行われていたそうです。喜多方市立図書館は、2年後の令和4年には現在の建物が開館してから50年の節目を迎えます。歴史好きの方にも、図書館好きの方どちらの方にも興味深く、楽しく図書館の歴史を知ることができる一冊です。

【一般コーナー】にあります。

『山とあめ玉と絵具箱』

川原 真由美／文・絵
リトルモア (291/カ)



人生で初めて登った山を覚えていますか？
本書には、著者が山に登った時のささやかなお話しが、柔らかな色調の絵とともに紹介されています。

日常生活に疲れを感じている時に、ほっと息抜きできるような清々しい印象の本で、雪が解けた頃に近くの山に出かけたくなるような一冊です。

【一般コーナー】にあります。

『けものが街にやってくる』

羽澄 俊裕／著
地人書館 (654/ハ)



昨年、喜多方市の中心部で熊の目撃情報が相次ぎ、また、怪我をされた方々もあり、市民生活が脅かされる事態が起きました。本書は、福島県生活環境部鳥獣対策専門官を務める著者による、野生動物がもたらす災害リスクについて、様々な警告が著されています。今後の新たな野生動物との共生についてのヒントが得られるかもしれません。

【一般コーナー】にあります。

『たのしい路上園芸観察』

村田 あやこ／著
グラフィック社 (627/ム)



路上園芸とは著者によると「軒先等の空間で、個人が楽しみのために育てている植物。」のことだそうです。興味を惹かれる写真が満載で、園芸好きの方はもちろん、これまで植物に興味の無かった方も、園芸魂がくすぐられ今年の春には、早速園芸を始めてみたくなる一冊です。

【一般コーナー】にあります。

その他の新刊の紹介

おうちで読書三昧しよう！



別の世界にトリップしたい気分なら・・・
＜小説＞

- * 『とわの庭』(F/オ)小川糸／著
- * 『浅草迄』(F/キ)北野武／著
- * 『きのうのオレンジ』(F/フ)藤岡陽子／著
- * 『湖の女たち』(F/ヨ)吉田修一／著
- * 『伊達女』(F/サ)佐藤巖太郎／著
- * 『サード・キッチン』(F/シ)白尾悠／著

小説家の日常に触れてみたいと思ったら・・・
＜エッセイ＞

- * 『寂聴残された日々』(914/セ)瀬戸内寂聴／著
- * 『たべる生活』(914/ム)群ようこ／著

別な生き方を感じてみたいなら・・・

- * 『元女子高生、パパになる』(916/ス)杉山文野／著

作家を目指したくなったら・・・

- * 『マナーはいらない』(901/ミ)三浦しをん／著

人間の感情について知りたい方は・・・

- * 『嫉妬の正体』(141/タ)谷沢永一／著

今話題の5Gについて知りたい方は・・・

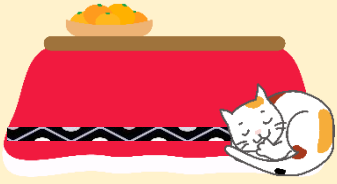
- * 『図解まるわかり 5Gのしくみ』(547/ズ)

飯盛英二、他／著



特集 図書館スタッフセレクト！

こたつでめくめくしながら読みたい、おすすめ図書4選



寒い時期、仕事や家事を終え、こたつでくつろぐひとときが最高ですよ。本とこたつの相性は抜群。こたつの暖かさと紙の温かみは相性バッチリですよ！今年の冬は、こたつのお供として図書館の本はいかがですか？

今年は丑年、干支を詳しく！！

『十二支の民俗誌』

佐藤 健一郎・田村 善次郎 // 著

工藤 員功 // 写真 八坂書房 (382/サ)

今年は丑年です。新年を迎えるにあたって、干支についての知識を深めてみませんか？民俗誌の視点から各地の伝承・神事・諺祭などを紹介し日本人の心に息づく十二支への想いを記しています。また干支にちなんだ絵馬郷土、凧、人形などの玩具や民具の写真も多数収録しています。



年賀状、書きませんか？

『年賀状のおはなし』

日本郵便株式会社 // 監修 ゴマブックス (693/ネ)

年賀状が届くと遠くの親戚や友人の顔が思い浮かび心新たに新年を迎えようという気持ちになります。本書では飛鳥時代から令和時代まで約1400年に亘る年賀の文化をカラー写真とともに紹介。干支をモチーフにした年賀状、島崎藤村や棟方志功ら有名人の年賀状も収録。美しくレトロな年賀状を眺めるのも楽しいです。



今こそオリンピックを深く知る

『オリンピック競技おもしろ大全』

雑学総研 // 著 KADOKAWA (780/オ)

オリンピック33競技、パラリンピック22競技の種目内容やルール見どころなどをイラストとともに解説。競技の成り立ちや選手の本音、試合のどこを見ればいいのかなど観戦が10倍楽しくなる情報が満載。イラストが豊富で分かりやすく、事前に予習して家族でオリンピック観戦できたら良いですね。



頭の体操も大事です

『大人のひらめきマッチ棒クイズ大全集』

和田 秀樹 // 監修 栗田 常雄・岡田 光雄 // 出題

実業之日本社 (798/オ)

シンプルだけど奥が深い、時間が経つのも忘れる…。昭和の頃にちょっと小粋な大人のパズルとして人気だった、マッチ棒クイズの決定版。令和の今でも十分楽しめます。懐かしのクイズから新作クイズまで181問収録。こたつに入りながら頭の体操しませんか？



みみずくちゃんの 図書館レポート

「リユースブックフェア」編



図書館で開催したイベントを紹介する「みみずくちゃんの図書館レポート」。今回は、令和2年10月31日（土）、11月1日（日）3日（火）に開催された、「リユースブックフェア」をご紹介します。
※今年度は終了したイベントです。



みみずくちゃん

「リユースブックフェア」は、図書館で所蔵できなくなった本や寄贈でいただいたけれど、登録できなかった本を無料でもらえるイベントです。イベントの間、図書館ロビー前はリユース本でいっぱいになります。



↑「皆さんの手にとどきますように」と、作業しています。↑



↑案内も貼り設営完了！



みみずくちゃん

リユース本には背表紙にシールが貼られているものと、バーコード等の装備が何もないものがあります。シールは図書館スタッフや職業体験生の手作業で貼られていますが、今年は、新型コロナウイルスの影響で職業体験がなく、スタッフのみで行いました。



↑手作業で行っています。



↑当日は天気も良く、外に設置することもできました。↑



図書館司書

今年のリユースブックフェアは終了しましたが、お渡ししきれなかった分をロビーにて配布していますので是非お立ち寄りください。リユースブックフェアは毎年文化の日を中心に三日間開催しています。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。来年もお待ちしています。

児童向け広報誌「わくわくとしょかんメール」では、「としょかんおしごとたいけん隊」を紹介しています。

【編集後記】

年未年始は毎年余裕をもってと思いつつ、結局慌ただしく過ごしてしまいます。忙しくなると、「ああ、手があと4本ぐらい増えて1日が48時間になってくれればいいのに」と、思う一方「でも、手が2本で1日が24時間におさまる活動をしなさいということかも」とも、考えてしまいます。どう過ごしても新年は来るので、なるべく後悔なくすごしたいですね。(Y・A)